

(1)事業の概要等

事業番号	B0900
実施計画事業	
実施計画事業以外の事業	○

令和5年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	緊急通報体制等整備事業					担当部			福祉部		
	事業期間	平成4年度	～	令和7年度以降			担当課			地域包括ケア推進課		
	小牧市まちづくり推進計画(R1年～R4年)	分野別計画編	基本施策	9	展開方向		担当係			長寿福祉係		
	予算区分	一般会計	款	3	項	2	目	1	大	3	中	5
	根拠法令・個別計画	小牧市緊急通報システム事業実施要綱					事業種別			一般事業		
	目的・成果 (何のために、どのような成果を期待するか)	在宅のひとり暮らし高齢者等の急病、事故等の突発的な緊急事態に対処するため、緊急通報システムを設置することにより、ひとり暮らし高齢者等の日常生活の安全確保と不安の解消を図る。										
	対象 (何・誰を対象に)	①ひとり暮らしで、65歳以上の高齢者又は重度身体障がい者の方 ②重度身体障がい者、知的障がい者(療育手帳A・B判定)又は要介護4、5の認定を受けている方と同居している高齢者										
	内容・手段 (目的達成のためにどのような事業を実施したか)	<p>●令和4年度の実施内容 急病などの緊急事態に対処できるように、本体及びペンダントのボタンを押すことや24時間以上動きを感知しない場合に受信センターへ自動的に通報できる装置を無償で設置し、必要に応じて救急車の出動要請や警備員及び緊急通報協力員の駆けつけ依頼等を行い、利用者の援助や救出を行った。 ※緊急通報システムの設置を民間の事業者へ委託 ○令和4年度利用世帯数:1,243世帯</p> <p>◆直接経費(令和4年度決算額) 役務費 749千円 委託料 19,969千円</p> <p>◆直接経費(令和5年度予算額) 役務費 1,696千円 委託料 20,000千円</p>										
受益者負担	無											

(2)事業費

項目		単位等	R1	R2	R3	R4	R5
直接経費	決算額	財源	一般財源 千円	21,092	22,128	22,569	20,718
		国・県支出金 千円					
		その他 千円					
	計(A)	千円	21,092	22,128	22,569	20,718	
	対前年比	%	—	104.9%	101.9%	91.7%	
予算額	千円	26,090	23,766	23,382	24,155	21,696	
人件費	正規職員	人	0.30	0.30	0.10	0.10	
	正規職員(平均賃金)	千円	2,246	2,246	749	749	
	その他職員	人			0.70	0.70	
	その他職員(時給×時間)	千円			1,490	1,490	
	計(B)	千円	2,246	2,246	2,239	2,239	
事業費合計(C=A+B)	千円	23,338	24,374	24,808	22,957		

(3)業績

展開方向における指標の推移			基本施策	9	展開方向			
指標名	単位	方向性	基準値	R2	R3	R4	R5	
1								
2								
3								

指標	指標ほか		単位	R1	R2	R3	R4	R5	
	成果指標	送受信数	件	目標	—	—	—	—	—
				実績	4,155	3,055	3,384	4,665	
	活動指標	利用世帯数	世帯	目標	—	—	—	—	—
				実績	1,163	1,216	1,240	1,243	
	活動指標	新規設置世帯数	世帯	目標	—	—	—	—	—
				実績	137	166	173	174	
	単 位 あ た り	受益者数(a)		人	1,163	1,216	1,240	1,243	
		受益者あたり事業費 (=C/a)		円	20,066	20,044	20,006	18,468	

(4)事業の評価

事業の 評価	事業の方向性	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの				
	事業の達成状況と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急通報システムを設置することにより、ひとり暮らし高齢者等の日常生活の安全確保と不安の解消を図ることができた。 ・近所づきあいの希薄化から、駆けつけ依頼等をする緊急通報協力員の確保が難しいため、民生委員に依頼する状況がある。 					
	今後の実施内容	高齢者等が住み慣れた地域で生活するための支援は必要であることから、引き続き、現行の内容で実施する。					
事務事業評価による額	千円		節	細節		細々節	